

## 株式の状況 (2012年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,080,000株
発行済株式の総数	321,480株
株主数	5,846名
大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
東 短 ホールディングス株式会社	37,500	12.44%
楽 天 証 券 株 式 会 社	33,250	11.03%
メロンバンク エアエー トリーティー クライアント オムニパス	29,808	9.89%
株 式 会 社 大 和 証 券 グ ル ー プ 本 社	23,120	7.67%
株 式 会 社 シ ン プ レ ク ス ・ ホ ー ル デ ィ ン グ ス	18,000	5.97%
ジャフコV2共有投資事業有限責任組合	8,679	2.88%
北 辰 不 動 産 株 式 会 社	6,270	2.08%
個 人	5,152	1.71%
奥 山 泰 全	4,118	1.37%
マ ネ ー パ ー ト ナ ー ズ 従 業 員 持 株 会	3,756	1.25%
大株主上位10名の合計	169,653	56.28%

(注) 1. 上記のほか、自己株式20,023株を保有しています。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しています。



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	3月31日 その他基準日を定める場合は、あらかじめ公告します。
公告方法	電子公告 <a href="http://www.moneypartners-group.co.jp/">http://www.moneypartners-group.co.jp/</a> ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
事務取扱所	みずほインバスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

### (ご注意)

- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、みずほ信託銀行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 配当について

### 平成25年3月期の中間配当（無配）に関するお知らせ

当社は、企業価値の長期継続的な創出、向上が株主利益貢献の基本であるとの認識のもと、株主の皆様への継続的かつ適正な利益還元を経営の重要課題と位置づけております。このような観点から、剰余金の配当につきましては、安定的な配当の継続を基本としつつ、各事業年度の業績、財政状態、今後の事業展開等を総合的に勘案し、連結当期純利益の30%を配当性向の目途とし、中間配当及び期末配当を年2回実施することを基本方針としております。

平成25年3月期の中間配当金につきましては、平成25年3月期第2四半期連結累計業績が四半期純損失の計上となったことに加え、FX業界でのボラティリティの低下によるスプレッド競争の激化、さらには業界内での淘汰・再編が加速している足許の状況に備え内部留保を厚くし、また、市場競争力のアップをはかるための設備投資等を行うため、誠に遺憾ながら、無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、業績の回復と復配を目指して努力いたします所存でございますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 会社概要 (2012年9月30日現在)

商号	株式会社マネーパートナーズグループ
URL	<a href="http://www.moneypartners-group.co.jp/">http://www.moneypartners-group.co.jp/</a>
本社所在地	東京都港区六本木一丁目6番1号
代表者名	代表取締役社長 奥山 泰全
設立	2005年6月10日
資本金	17億8,622万円
従業員数	17名 (連結：114名)
関係会社	株式会社マネーパートナーズ 株式会社マネーパートナーズソリューションズ
事業内容	持株会社としてグループ全体の株式を保有することにより、当社グループ全体の経営戦略、経営管理機能を担っています。



## 第9期 中間のご報告

(2012年4月1日～2012年9月30日)



当社グループが目指すもの

# DON'T STOP!

当社グループは「Don't Stop!」を社是とし、企業理念である「カスタマーファースト」「バリューアップ」「イノベーション」「コンプライアンス」の四つの基本コンセプトの実現に向けた取組みを継続的に実行し、かつ「とまらない」ことを会社経営の基本方針としております。



## 東証2部上場までの歩み

- |          |   |
|----------|---|
| 2005年 6月 | ● 一般投資家向けにインターネット等を通じた外国為替証拠金取引サービスを提供することを目的として、株式会社マネーパートナーズを東京都港区西麻布に設立し、外国為替取引事業を開始             |
| 11月      | ● 本店所在地を東京都港区六本木へ移転   |
| 2006年 9月 | ● 外国為替取引システムの開発力強化を目的として、株式会社マネーパートナーズソリューションズを100%子会社として設立   |
| 2007年 6月 | ● 大阪証券取引所 ニッポン・ニュー・マーケット - 「ヘラクレス」(現)大阪証券取引所JASDAQ市場)に株式上場*   |
| 2008年 4月 | ● 株式会社日本格付研究所(JCR)より新規に格付を取得(短期優先債務:J-3)  |
| 5月       | ● 持株会社体制への移行を目的として外国為替証拠金取引事業承継の受け皿となるマネーパートナーズ分割準備株式会社を100%子会社として設立                                |
| 10月      | ● 株式会社マネーパートナーズグループに商号変更<br>● 吸収分割により、全事業をマネーパートナーズ分割準備株式会社(10月1日付で株式会社マネーパートナーズに商号変更)に承継し持株会社体制へ移行 |
| 2012年 5月 | ● 東京証券取引所 市場第二部に株式上場  |

※東証2部との重複上場を避けるため当社申請により2012年9月29日をもって上場廃止となっております。

## 株主の皆様へ



株式会社  
マネーパートナーズグループ  
代表取締役社長  
**奥 山 泰 全**

### ご挨拶

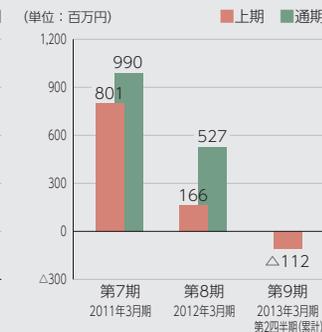
平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに当社グループの第9期事業年度の中間業績(2012年4月1日~2012年9月30日)の概況についてご報告申し上げます。  
外国為替市場は低調な米国各種経済指標や欧州債務問題に対する懸念の一方、わが国政府・日銀による為替介入懸念の警戒感が煽るなか、方向感に乏しい相場展開となり、外国為替全体の変動率(ボラティリティ)が極めて低い水準で推移いたしました。また、FX業界においてはスプレッドの縮小をはじめ業者間の競争は一層厳しさを増しており、当社グループの業績は低迷しておりますが、継続的に顧客基盤の拡充をした結果、顧客口座数は2012年8月には20万口座を突破いたしました。  
当社の業績が外国為替市場の影響を受ける状況は変わっておりませんが、マーケット状況に左右されず安定的に収益を上げていけるよう、さらなる顧客基盤の拡充を目指し業績の回復に努めてまいります。  
株主の皆様には一層のご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 財務ハイライト

#### 営業収益



#### 経常利益



※営業収益には、消費税は含まれておりません。

Q

楽天証券に対するホワイトラベル提供を終了することについて、業績への影響を説明してください。

A

依存度は低下傾向にあり、業績への影響は限定的

ホワイトラベル終了につきましては相手先の事情により当事業年度第4四半期に予定されているものでありますが、その業績への影響は、営業収益の落ち込みは想定されるものの、相応のコストも削減可能であると考えております。

当社といたしましては、ホワイトラベル終了もさることながら、外国為替市場の低変動率が長期化することを業績悪化の要素として懸念しておりますが、自社顧客向けサービスのシェアをさらに拡大し、ホワイトラベルへの依存度を一層低減させるよう努めてまいります。

Q

中間業績が赤字決算となりましたが、その原因はどこにあるのか説明してください。

A

想定を超えた外国為替市場の低変動率の長期化

中間業績が赤字となった最大の要因は、当社グループの予想を超える外国為替市場の変動率の低下及びその長期化であると認識しております。これを背景に、個人投資家の取引意欲が減退したのみならず、FX業界においてスプレッド競争等が激化し、当社グループとしてもスプレッドの縮小を余儀なくされるなどの影響を受けました。スプレッドの縮小は取引高当たり収益率の低下につながり、FX取引高こそ低変動率のなか前年同期並みの水準を確保できたものの、営業収益はコストの減少幅以上に減少いたしました。

Q

2013年3月期の3つの重点施策の現在の進捗状況及び今までの成果、今後の展開を教えてください。

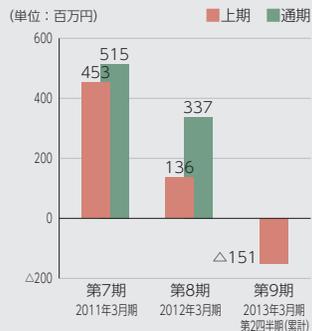
A

システム刷新による収益力向上とコスト効率化

収益の向上を主たる目的とした基幹系システムの一新を本年7月から8月にかけて実施しております。今後その機能を十分に生かし収益性の向上をお示しできるよう邁進してまいります。また本年度第3四半期から第4四半期にかけて顧客向けシステムの大幅な刷新も予定しており、顧客利便性の向上はもとより、システムに係るコストの大幅な効率化を見込んでおります。

今後は、これら収益力向上やコスト効率化への取組みに加え、よりお客様にご支持いただける新たなサービスの創出等により、安定的な収益基盤の確立に努めてまいります。

四半期(当期)純利益



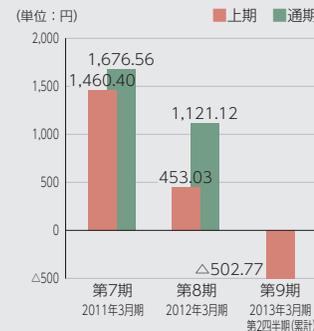
総資産



純資産

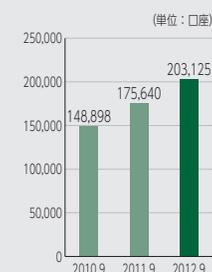


1株当たり四半期(当期)純利益

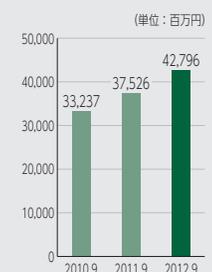


事業データ

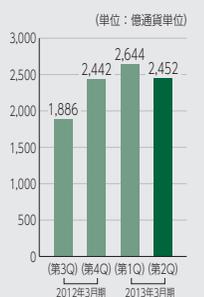
顧客口座数



顧客預り証拠金



外国為替取引高



(注) 顧客口座数、顧客預り証拠金・・・各第2四半期末時点の口座数、預り証拠金残高  
 外国為替取引高・・・各四半期毎の3ヶ月間の取引高  
 なお、それぞれの計数には、2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めて表示しております。

5/28 東京証券取引所  
市場第二部 上場!

金融商品取引業者としては2006年以來、FX專業業者としては初の東京証券取引所本則市場への上場となります。

7/20 『外貨両替・受取サービス』関西国際空港にて受取サービス開始!

2012年7月20日(金)より、成田空港に加え、関西国際空港でも受け取りが可能となりました。

8/16 20万口座突破!

2012年8月16日をもって、株式会社マネーパートナーズにおけるFXの顧客口座数が20万口座を超えました。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

● お客様からのご要望にお応えして受取窓口に関西国際空港を追加!

マネーパートナーズの  
外貨両替・受取サービス

FX取引未経験でもOK! 外貨両替・受取サービスのみのご利用も可能!  
マネパの両替サービスは、FX取引(投資)とは違うスキームで両替ができますので、FXを行ったことのない方でも簡単に両替できます!

マネパの外貨受取3つのポイント

POINT 1

インターネットで事前申込! カンタン便利な外貨両替!

POINT 2

海外旅行の主要な玄関口 成田・関空 のどちらでも受取可能!

POINT 3

当日は現金不要! 受取専用カウンターでスピーディな受取!

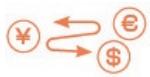
格安

なんと両替手数料は外貨ショップの数分の1に



便利

当日は現金不要!  
成田・関空で外貨現金が受け取れる



狙える

両替はレートが良いタイミングを狙える



安心

困ったときでも安心の電話サポート



FXとは「外国為替取引」のこと!

「外国為替取引 (FX)」とはどんな取引?

<お金を買って、お金を売る>

日本円を売る



ドルを買う



両替窓口

空港などの両替窓口で手持ちの「円」を「ドル」に交換することは「円を売って、ドルを買う」こととなります。

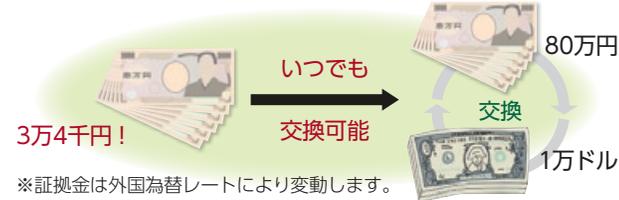
<外貨預金とFXのちがひ> 基本的な仕組みは同じ!

1ドル=80円のとき1万ドルを購入する場合

外貨預金では1万ドルを80万円で買う(1万ドルの預金を行う)際には、1万ドルを即時受け取る代わりに、80万円を即時支払う必要があります。



FXでは1万ドルを80万円で買う場合に、3万4千円の担保\*(証拠金)を差し入れるだけでよく、代金の受渡しはお客様の希望があるまで無期限に繰り延べることができます。



\*証拠金は外国為替レートにより変動します。

為替差益を狙っての反対売買(1万ドルの売り)を行う場合、FXは売値と買値の差(スプレッド)が小さいため外貨預金と比べ極めて小さいコストで行うことができます!